



# ひまわり

**【学校教育目標】**  
頭をきたえ、心をみがき、  
体をきたえる生徒の育成

**【凡事徹底】**  
時間を守る  
清掃・整理整頓  
あいさつ・聞く態度

## 【県夏季陸上大会】～2年 浅見ゆり菜さん 100 m Hで1位 九州大会出場！～

7月6日(土)、7日(日)の両日、タピック県総ひやごんスタジアムにおいて第44回沖縄県中学校夏季陸上競技大会が開催されました。本校からは、3年のピラトゥ瑛さん(共通ジャベリックスロー)、新城安栗さん(3年 1500m)、2年の山入端寿至さん(共通 400m・2年 100m)大城隆之介さん(共通 800m・2年 1500m)、浅見ゆり菜さん(共通 100mH)の5名が各種目にエントリーしました。その中で、女子共通100mHに出場した浅見ゆり菜さんが15秒69の好タイムで見事1位となり、8月に長崎県で開催される九州大会への出場が決まりました。おめでとうございます。他の皆さんもお疲れさまでした。



## 【ジョン万次郎英語弁論大会】～喜久里野々花さん(3年)が堂々と発表！～

7月8日(月)に糸満市役所5階の会議室において「NPO琉球万次郎会」主催の「第5回糸満市ジョン万次郎英語弁論大会」が開催されました。

本弁論大会は、約180年前に遭難という予期せぬ困難に負けず、決してあきらめずに立ち向かい、未来を切り開き夢に向かって進んだジョン万次郎の生き方に学び、国際人の先駆けとなった万次郎への理解を深め、夢を広げると共に、国際化が進む社会を生き抜くためのコミュニケーション能力を育成し、世界で活躍するグローバルな人材の育成を目的としています。



今回は、市内の5つの中学校から代表各1名ずつが参加し、万次郎の生き方から学んだことと自らの体験や夢などを関連付けて英語で発表しました。

本校からは、3年生の喜久里野々花さんが出場し「Three tips to improve our life～人生を良くする3つのヒント～」という演題で発表しました。発表では、ジョン万次郎が、①どんな困難な中でも諦めずに行動したこと、②チャレンジ精神で色々なことに挑戦したこと、③ポジティブな性格だったこと、の3つの良さを取り上げ、自分が9年間きつい練習を乗り越えて柔道を続けていることや、英会話に挑戦していることなどに関連させて意見を述べました。そして、「行動力やチャレンジ精神、ポジティブ精神を持って様々なことに挑戦していきたい。」と英語で抱負を述べました。

野々花さんの発表は、落ち着いて堂々としており、英語の発音や表現力も良く、とても素晴らしいものでした。

本大会は、8月に高知県で開催される「第9回ジョン万次郎英語弁論大会」に派遣する生徒1名を選考する大会でしたが、野々花さんは惜しくも優良賞でした。

**【糸満市少年の主張大会】～3年 神谷汐莉さんが最優秀賞に輝く！～**

7月10日(水)に糸満市農村環境改善センターにおいて「糸満市少年の主張大会」が開催されました。今回は糸満市内の5つの中学校から8名の生徒が参加し、学校・家庭・地域での日常生活の中で考えていることを発表しました。本校からは、3年生のピラトゥ<sup>あきら</sup>さんと神谷汐莉さんが出場し、素晴らしい発表をしてくれました。

瑛さんは、「父がいたからこそ」という演題で、イタリア人である父が母国の家族と離れて沖縄で暮らしながら、達者ではない日本語を懸命に習得し、自営業で接客をしている姿や、自分の思いをしっかりと伝えようと苦労している姿をみて考えさせられたことなどを発表しました。そして、父とはたまに言い合いになることもあるけど、自分の生まれた場所を離れ、異国の地で仕事をして家族を育てていることや、言語が異なる日本で大変な思いをしながらそれを乗り越えてきた父の努力を思うと、父を尊敬せずにはいられないと語りました。また、沖縄中の海に連れ出してくれる優しい父も、反抗的な自分の態度を注意してくれる厳しい父も、全部ひっくるめて尊敬しており、父のように夢を追いかけてしっかり生きていきたいと結びました。



汐莉さんは、「ウチナーンチュだからこそ」という演題で、これまで学んできた沖縄戦についての学習や体験を踏まえ平和について発表しました。昨年、曾祖母の名前が刻銘されている「平和の礎」を訪れた時の祖父の祈る姿を目の当たりにして、命のバトンを受け取った者として出来ることについて考えさせられたこと。そして、今年、「平和の礎に刻銘された方々の名前を読み上げる」活動への参加や生まれて初めて



壕に入る体験をしたことなどから、戦争や歴史に翻弄されてきたウチナーンチュの苦しみをしっかりと理解し、再び戦争への道をたどることがないように、命のバトンを繋ぐことが私たちの使命だと述べました。最後に、「平和になるために、しっかり知る、学ぶ、そして伝える。自分のできる活動を積み重ねてウチナーンチュの誇りを大切に生きていこうと思います。戦争の終結したこの糸満の地から、絶えることのない平和の花を咲かせていきたいです。」と決意と希望の言葉で結びました。

結果は、神谷汐莉さんが見事最優秀賞に輝き、9月に開催される地区大会への出場権を獲得しました。地区大会での健闘を祈ります。また、瑛さんもとても素晴らしい発表で優良賞でした。

